

第5次レッドデータブック： 絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

オオハコベ

Stellaria bungeana

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 維管束植物分科会



環境省 編

令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. オオハコベ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Stellaria bungeana* Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

オオハコベ

Stellaria bungeana

カテゴリー判定結果 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 基準 D

推定開花株数が 1000 個体未満。

評価分科会： 維管束植物分科会

基礎情報

【形態】

高さ 30-80 cm。茎は直立し下部は分枝、片側に軟毛と腺毛がある。葉は卵形～卵状長楕円形で長さ 4-8 cm、下面の中脈と縁には毛がある。花は茎頂に集散花序をつけ、花弁は白色。

【生活史】

多年草。

【生育環境】

低地～山地の林縁、湿り気のある草原に生育する。

【分布域】

北海道に分布。国外では、アジア（北東部）、シベリア、ヨーロッパロシア（東部）に分布する。

現在の生育状況

【生育地の現況】

2018 年調査では情報は得られなかったが、現状は 2007 年調査時と変化がないと推測される。2007 年調査では個体数が過小評価されていた。基準 D により VU とした。

現地調査の集計結果 2007 年調査

【「現存する株数」別のメッシュ数】

<10	<50	<100	<1000	<10000	>10000	合計	絶滅	その他
1	0	0	0	0	0	1	0	0

【存続を脅かす要因上位3項目の件数】

1 番 目	2 番 目	3 番 目
要因		
件数		

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	オオハコベ	<i>Stellaria bungeana</i>	VU
第4次 2019:	オオハコベ	<i>Stellaria bungeana</i>	VU
第4次 2018:	オオハコベ	<i>Stellaria bungeana</i>	VU
第4次 2017:	オオハコベ	<i>Stellaria bungeana</i>	VU
第4次 2015:	オオハコベ	<i>Stellaria bungeana</i>	VU
第4次:	オオハコベ	<i>Stellaria bungeana</i>	VU
第3次:	オオハコベ	<i>Stellaria bungeana</i>	VU
第2次:	—	—	—
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

掲載なし

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2017. 改訂新版日本の野生植物 4. 348pp., 256pls. 平凡社，東京.

アセスメントサマリー（Assessment summary）

Stellaria bungeana has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Stellaria bungeana* is listed as VU under criteria D.

D. Population size estimated to number fewer than 1,000 mature individuals.

Threat types:	No Data
---------------	---------

Law designation status for conservation	—
---	---

執筆者:	日本植物分類学会
Author:	Japanese Society for Plant Systematics

公表年月：2025 年 3 月